



西大和学園補習校 中学部

国語1 科

10月10日の連絡

7年

さんへ

※今日の学習内容

「いろは歌」の音読・内容

※今日の宿題

- ・音読「いろは歌」「七夕に思う」
- ・7-7 p72~75 extra p71. 45. 25
- ・書き字し課題プリント
- ・「星の花が降る所に」の話の続きを考える (107コンで書いてもよい)

※来週の予定

蓬菜の玉の枝 (竹取物語)

10/24より

※連絡事項

次週10/17はお休みです

7年生国語「いろは歌」①

氏名( )

「いろは歌」は、( )文字の仮名を一回ずつ使って作られている。  
 ( )時代に成立したが、作者は不明である。  
 七音・五音を( )回くり返す形式である。仮名を学ぶ手本や、ものの順  
 序をあらわすものとして使われた。  
 原文には濁点(「が」「ば」などについている点)は使われないうが、読むと  
 きには漢字や濁点を当てて読んでみよう。

※ほう線部の読み方を書き、裏に出して読んでみよう。

下の段の意味を読んでみよう。

<p>いろはにほへど</p>	<p>色は美しく照り映えていても</p>
<p>ちりぬるを</p>	<p>(花は)散ってしまうものである</p>
<p>わかよたれそ</p>	<p>私たちこの世のだれが</p>
<p>つねならむ</p>	<p>永久に変わらないことがあるか</p>
<p>うゑのおくやま</p>	<p>いろいろなことがある(人生の)深い山を</p>
<p>けふこえて</p>	<p>今日も越えて(いくのだが)</p>
<p>あたきゆめみし</p>	<p>浅い夢など見ることはしない</p>
<p>忍びもせず</p>	<p>心をまどわされもしない</p>

7年生国語「いろは歌」②

氏名( )

※「いろは歌」を暗唱(おぼえるじゆ)してみよう。  
 (下の段の、四十七文字のひらがなを一つずつ使ってみよう。)

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--

あ	い	う	え	お
か	き	く	け	こ
さ	し	す	せ	そ
た	ち	つ	て	と
な	に	ぬ	ね	の
は	ひ	ふ	へ	ほ
ま	み	む	め	も
や		ゆ		よ
ら	り	る	れ	ろ
わ	ゐ		ゑ	を

( ) 年氏名 ( )

「勉強ができる」ということと、「賢い」ということは、違うことだとわかるだろうか。  
君たちが普通、「あの人は勉強ができる」と言う時、たいていそれは「成績がいい」ということだね。試験でいい点をとって、いい成績をとっている。

だけど、「賢い」というのは、そういうことじゃない。サ行下二段活用を言えなくても、ローマ帝国崩壊の年号を正確に知らなくても、そんなことは全然問題じゃない。「賢い」ということは、そういうことは全然違うことなんだ。

たとえば、この場合なら、なぜ言葉というのはそんなふうに活用するものなのか、なぜ活用することで言葉の意味は変わるのか、そういう問いをもっていることだ。問いをもつて、自分で考えていることだ。あるいは、なぜローマ帝国は滅んだのか、滅ぶということは人々にとってどういうことだったのか、そういう問いをもつて、それを自分で考えていることだ。教わったことについて、自分で考えていることだ。君は、授業で教わったことについて、自分で考えたことがありますか。

文法や年号を覚えて、試験でいい点をとることなんか、その意味では簡単だ。自分で考える必要がないからだ。だから、自分で考えずに覚えただけのことなんか、試験が終われば忘れちゃうんだ。それで賢くなっているわけがないじゃないか、だって忘れちゃうんだから。

自分で考えたこと、自分の頭を使って自分でしっかり考えたことというのは、決して忘れることがない。その人の血となり肉となり、本当の知識となって、その人のものになるんだ。人間が賢くなるということは、こういうことだ。言葉はなぜ活用するのかを考えるということは、自分がふだん使っているこの言葉について考えることだし、ローマ帝国の崩壊と人々について考えるということは、同じ人間としての自分の心や行為について考えることだ。考えるということは、必ず、自分のこととして考えるということだ。すべて自分に関係のあることとして考えるということなんだ。

君が勉強が面白くないのは、それがなぜ自分に関係があるのかわからないからだね。だけど、この世界で自分に関係のないことなんか一つもない。すべて自分に関係のあることなんだと思つて、世界を見て、勉強するようにしてごらん。勉強するということの意味と面白さが、わかるようになるはずだ。

国語、数学、理科、社会、英語、どれも勉強することにはそれなりの意味がある。それぞれが、それぞれの仕方、この世界のことを知ろうとして探求しているものだからだ。そして、世界に自分に関係のないことはないのだから、「世界を知る」ということは、「自分を知る」ということだ。「自分を知る」ことでこそ、人間は賢くなることができる。暗記するだけの勉強がつまらないのは、それで自分が賢くなったと実感することができないからだ。

この部分を書き写そう！

「14歳の君へ〜どう考えどう生きるか」より

池田晶子 毎日新聞社







西大和学園補習校 中学部

<教科名> 国語②

10月10日の連絡

7年

※<sup>きょう</sup>今日の<sup>がくしゅうないよう</sup>学習内容

漢字の学習 P36 ) ① - ⑱ P37 ) 冒について、

漢字テスト NO.19②, NO.20①

※<sup>きょう</sup>今日の<sup>しゅくたい</sup>宿題

漢字の学習 P36 ) ① - ⑱ P37 )

プリント NO.20②, NO.21①,

※ 10月24日<sup>よてい</sup>の予定

漢字の学習 P36 ) ⑲ - ⑳ P37 ) P38 ) ① - ⑱ P39 )

漢字テスト NO.20②, NO.21①

※<sup>れんらくじこう</sup>連絡事項

Blank box for contact information.

西大和学園補習校 八年 漢字テスト(読み)	
①～④の漢字に読みかな を書きなさい。本後は短森	
①	書物を著す。
②	彼を委員長に推す。
③	扇の的。
④	敵前に陣を構える。
⑤	敵が突如現れる。
⑥	海に小舟を浮かぶ。
⑦	馬の手綱を取る。
⑧	度重なる失敗。
⑨	面を上げる。
⑩	勝利を祈念する。

10月24日テスト

短文作り

西大和学園補習校 八年 漢字テスト	
名前	
⑪	津々浦々に広がる。
⑫	感に堪えない様子。
⑬	十余騎の兵。
⑭	悔しい思いをする。
1	著す。
2	推す。
5	突如。
8	度重なる。
11	津々浦々。
12.	感に堪えない。



西大和学園補習校七年 漢字テスト(読み)	
	①～⑫の漢字に読みかな を書きなさい。
①	民話を語り継ぐ
②	短冊を竹に飾る。
③	彦星と織り姫。
④	棚に箱を置く。
⑤	機を織る。
⑥	天の川の渡り場
⑦	現代と違う曆
⑧	次第に寒くなる。
⑨	趣のある庭園
⑩	筒の中をのぞく。

10月24日テスト



西大和学園補習校七年 漢字テスト	
	名前
⑪	物語の冒頭を読む。
⑫	子供を授かる。
1	語り継ぐ
2	短冊
4	棚
6	川の渡り場
7	曆
8	次第に
9	趣
12	授かる。



西大和学園補習校七年 漢字テスト	
①～⑫の漢字に読みがなを書き本の後の1～8の語句を使って短文を作りなさい。	
①	環境を整える。
②	健康を維持する。
③	大魚を捕獲する。
④	王座を奪還する。
⑤	社会に貢献する。
⑥	不朽の名作。
⑦	丹精込めて作る。
⑧	小児医療に携わる。
⑨	地域の集いに出る。
⑩	街道沿いの町

10月10日テスト

★短文作り

西大和学園補習校七年 漢字テスト	
名前	
①	かきが熟れる。
②	速やかに決断する。
1.	環境
2.	維持する。
3	捕獲する。
4	奪還する。
5	貢献する。
6	不朽の名作
7	丹精
8	小児医療に携わる

国語 ② 七年

No.19 ②

西大和学園補習校七年  
漢字テスト

西大和学園補習校七年  
漢字テスト

★ 10月10日テスト

①～⑩を漢字とかなで  
書き直して下さい。

名前

①

ふねでおきにする。

①

礼拝堂をおよぼす。

②

おもいづきかた。

③

ふんじんをうらぐ。

④

ながいにおよぶかた。

⑤

えんをたがひする。

⑥

うしろのおおひな。

⑦

うしろのおおひなをうらぐ。

⑧

たがひをうらぐ。

⑨

うらぐをかくとする。

⑩

お金のうらぐ。





西大和学園補習校 中学部

<教科名>数学

10月10日の連絡

7年

きょう がくしゅうないよう  
※今日の学習内容

○第4章変化と対応 第3節1 反比例の式、反比例のグラフ (教科書 p.112-p.118)

きょう しゅくだい  
※今日の宿題

○ワーク p.68&p.69&p.71.

※ 10月3日の予定<sup>よてい</sup>

○第4章単元テスト4

○第4章変化と対応 第4節比例、反比例の利用 (教科書 p.119 -p.125)

れんらくじこう  
※連絡事項

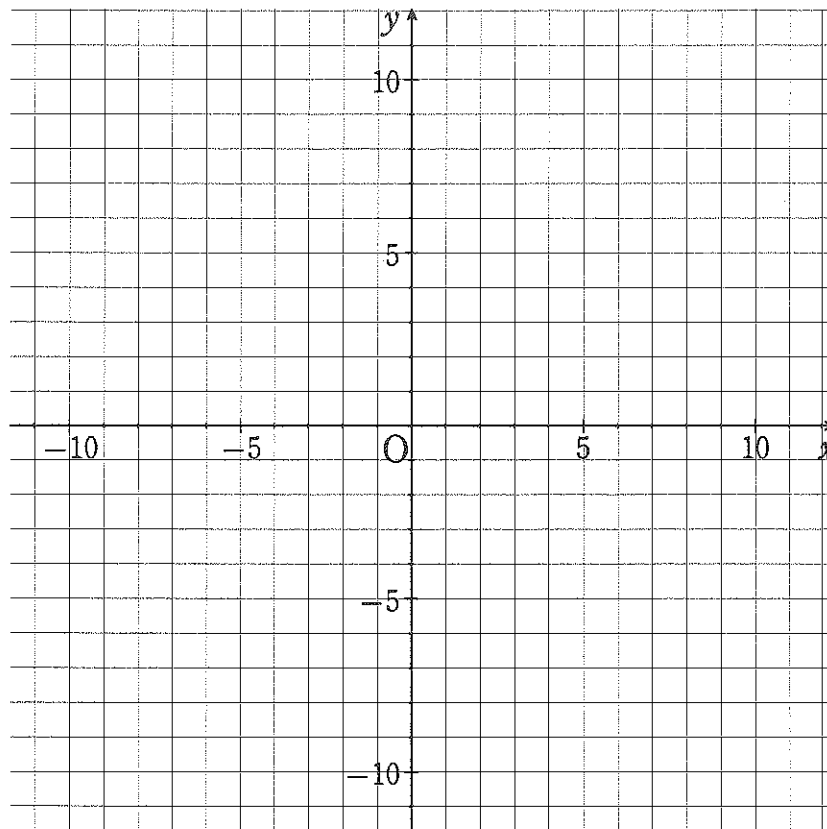
4.

次の文章を完成させましょう。(読み仮名：比例(ひれい)，関係式(かんけいしき))

(1)  $y$ は $x$ に比例していて、 $x=8$ のとき、 $y=16$ です。 $x$ と $y$ の関係式は、 $y=$  , $x=5$ のときは、 $y=$  ,  $y=-2$ のときは、 $x=$  となる。(2)  $y$ は $x$ に比例していて、 $x=6$ のとき、 $y=10$ です。 $x$ と $y$ の関係式は、 $y=$  (3)  $y$ は $x$ に比例していて、 $x=3$ のとき、 $y=-12$ です。 $x$ と $y$ の関係式は、 $y=$  

5.

次のグラフをかけ。

(1)  $y=2x$     (2)  $y=-x$     (3)  $y=\frac{1}{4}x$ 



西大和学園補習校 中学部

理科

10月10日の連絡

年

さん

※今日の<sup>きょう</sup>学習<sup>がくしゅう</sup>内容<sup>ないよう</sup>

教科書 p 27～29 感覚器官のつくりとはたらき  
教科書 p 34～35 運動のしくみ  
教科書 p 36～47 動物のなかま分け

※今日の<sup>きょう</sup>宿題<sup>しゅくだい</sup>

ワーク p 13, 16, 18～21

※次週<sup>じしゅう</sup>の予定<sup>よてい</sup>

教科書サイエンス2 p 48～53 生物の進化  
教科書サイエンス3 p 4～8 生物の成長

※連絡<sup>れんらく</sup>事項<sup>じこう</sup>

10月24日の授業からサイエンス3の教科書を使います。  
9年生：サイエンス3の教科書を持ってきてください。  
7, 8年生：サイエンス3の教科書を貸出します。  
ワーク（理科の学習3）はコピーを配布します。





西大和学園補習校 中学部

<教科名> 社会

10月10日の連絡

7~9年

きょう がくしゅうないよう  
※今日の学習内容

教科書 p.126-131

きょう しゅくだい  
※今日の宿題

教科書の音読 p.132-139 語句ノート作成

よてい  
※10月24日の予定

教科書 p.132-139

れんらくじこう  
※連絡事項